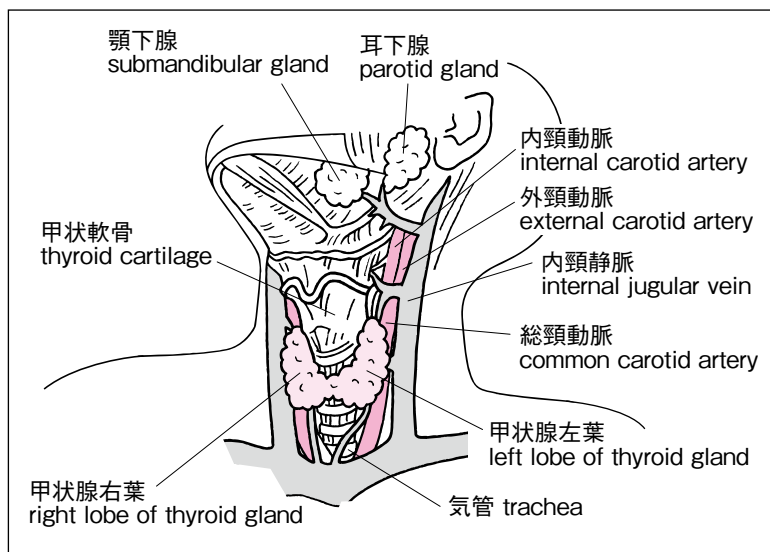
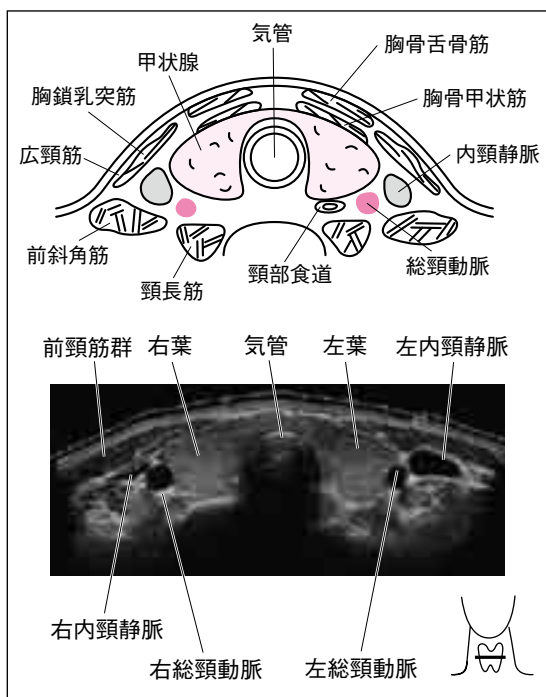


V 甲状腺 *thyroid gland*

1. 甲状腺について



図a 前面からみた甲状腺



図b 甲状腺の横断面解剖図とエコー像の対比

・甲状腺

甲状腺は蝶の形をした内分泌臓器で、左右の側葉と峡部からなる。峡部は第2～3気管軟骨の高さで気管の前面にみられる。左右の側葉は上方に円錐状を示し、甲状軟骨上縁近くに達する。側葉の上端を上極、下端を下極と呼んでいる。図aは前面からみた甲状腺を示す。

・甲状腺の横断面解剖図とエコー像

甲状腺の前面には胸骨甲状筋、胸骨舌骨筋、胸鎖乳突筋、広頸筋があり前頸筋群をなす。両葉の外側には総頸動脈、内頸静脈が走行し、甲状腺峡部背側には気管、食道がある。図bは甲状腺の横断面解剖図とエコー像を対比して示す。

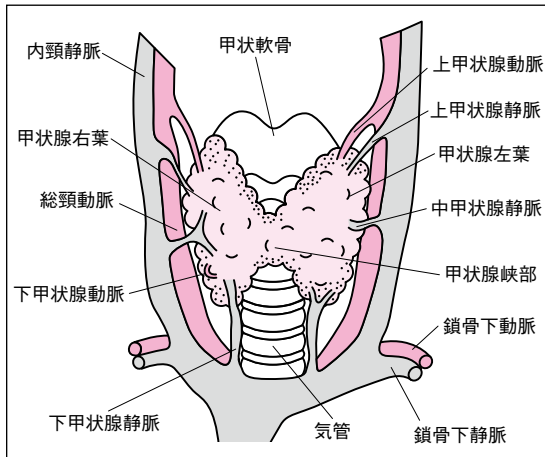
◆ 甲状腺の血管

・ 動脈

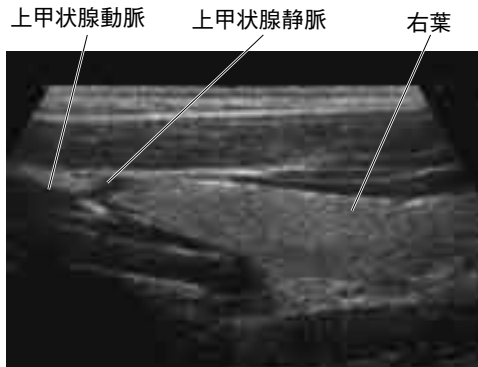
甲状腺の動脈は、左右の上下甲状腺動脈で、上甲状腺動脈は外頸動脈の第一分枝から甲状腺両葉上極より甲状腺に流入する。下甲状腺動脈は鎖骨下動脈の分岐から甲状腺頸動脈より出て甲状腺両葉の後下面より甲状腺に流入する。

・ 静脈

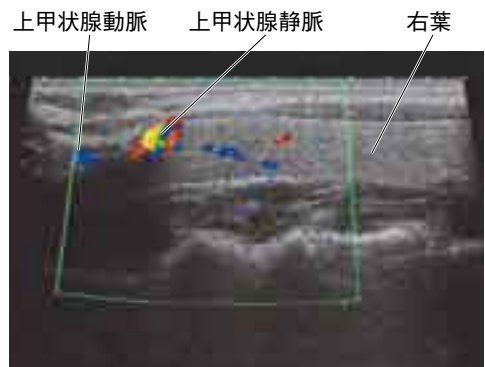
静脈は左右の上甲状腺静脈、中甲状腺静脈、下甲状腺静脈があり、甲状腺周囲に静脈叢をつくる。上・中甲状腺静脈は内頸静脈に、右下甲状腺静脈は腕頭静脈に、左下甲状腺静脈は鎖骨下静脈に入る。図cは甲状腺周囲の血管走行を示す。図dは甲状腺動静脈のBモード像および同部位のカラー Doppler 像を示す。



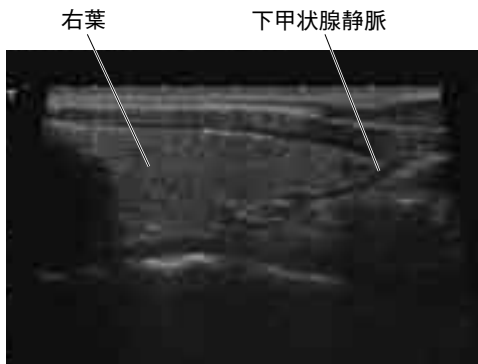
図c 甲状腺周囲の血管走行



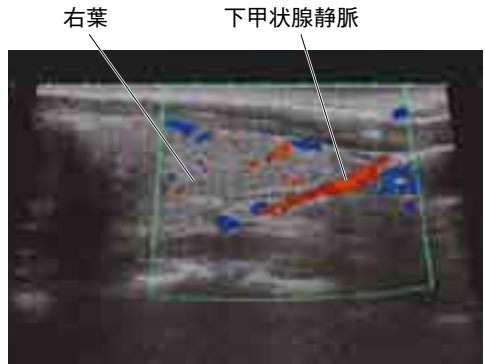
Bモード像



カラー Doppler



Bモード像



カラー Doppler

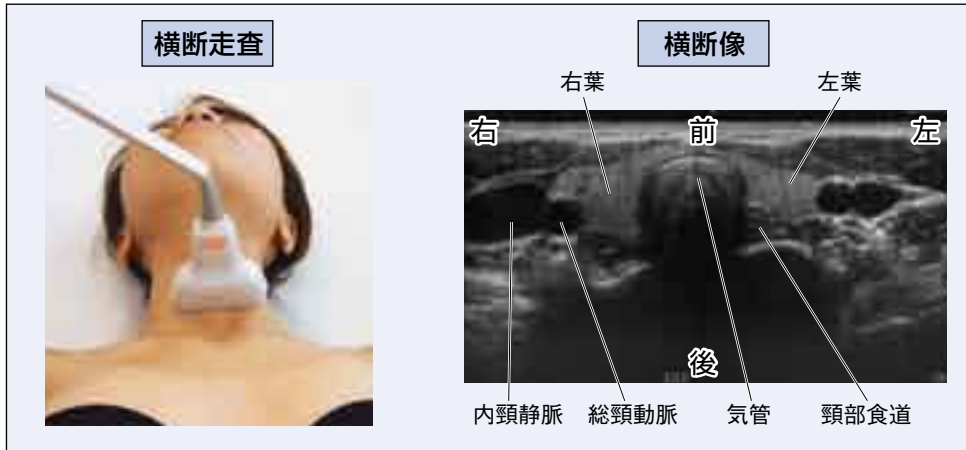
図d 甲状腺動静脈のエコー像

2. 甲状腺の表示

甲状腺の横断像，縦断像の表示について示す。

・横断像の表示

横断像の表示は，被検者の足側からみた像として表示するようになっている。図aは甲状腺の横断走査とエコー像の表示を示す。



図a 甲状腺の横断走査とエコー像の表示

・縦断像(矢状像)または長軸像の表示

縦断像の表示は，被検者の右側からみたものとして表示するようになっている。図bは甲状腺の縦断走査とエコー像の表示を示す。気管の走行に平行となる走査で得られる断層像となる。



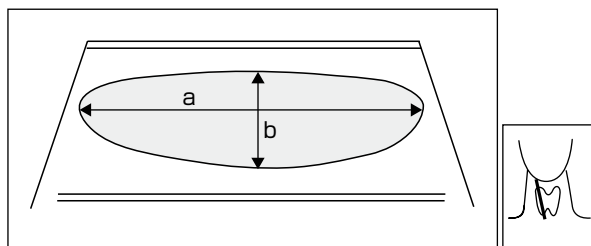
図b 甲状腺の縦断走査とエコー像の表示

3. 正常甲状腺の大きさ

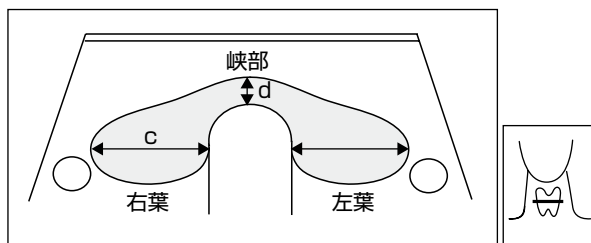
甲状腺の正常値と計測部位について示す.

表 甲状腺の正常値

	大きさ
長 径 (a)	50mm以下
短 径 (b)	15mm以下
横 径 (c)	20mm以下
峡部厚 (d)	4mm以下



図a 縦断像による計測部位



図b 横断像による計測部位

・甲状腺の正常値

成人における正常甲状腺の大きさには個体差, 男女差, 左右差がみられる. 左右の大きさでは右葉に比べ左葉のほうが小さめに描出される傾向がある. 甲状腺のおおまかな大きさを知っておくとよい. 表は成人における正常甲状腺の目安の値を示す.

- ・縦断像による甲状腺の計測部位を示す(図a).
ここでは右葉・左葉の長径と短径について観察する.

- ・横断像による甲状腺の計測部位を示す(図b).
ここでは峡部厚, 右葉・左葉の横径を中心に観察する.

- ・甲状腺の右葉の体積を推定するには次の式で算出される.

$$\frac{\pi}{6} \times (a \times b \times c) \quad \text{cm}^3 (\text{単位})$$

a: 縦断像の長径

b: 縦断像の短径

c: 横径

∴ 甲状腺の重量は15~20gである.